

所見

毎年、点検評価は分かりやすくスリム化をと提案してきましたが、単に項目や内容を少なくすることではありません。その意味で今回の「実施報告と点検評価」は、簡潔でありながら文章説明も内容を盛り込み過ぎず明快になり、また数値評価と説明の整合が向上し、説得力が上がったことが評価できます。

昨年から一新された見開きのページで重点目標が一瞥できる、視覚的に明快に評価が分かる、などの表現工夫なども相まって、この点検評価は妥当と考えられます。

特に評価は点検とともに今後の対応が重要ですので、「成果と課題」と連動させて「今後の対応」により具体的な取り組みを例示したこと、課題解決に直結した対応の提示が増えたことが今回の特徴と言えるでしょう。

教育の成果は市民にとって大きな関心であり、常に向上が求められるもの。そこには積極的な市民への発信とアピールも欠かすことができませんが、この点においても委員会の取り組みは種々の配布物などを通して実践されており、有意義です。

今後に関しては、数値目標の提示根拠にもう一工夫欲しい項目も残ります。計画値は設定が難しいものが多いですが、例えば前年度比で増加した方が良いものは前年度比を示すなど、単なる数値だけでなくその根拠を示すもの、エビデンスが提示されることが必要です。

これまでも誠実・着実に改善の取り組みを継続されてきた伊丹市教育委員会の皆様の仕事を応援しつつ、さらなる努力を期待しています。